

第 12 回
広島国際アニメーションフェスティバル
記者発表

資 料

1 国際審査委員について	1
2 大会プログラムについて	5

と き : 平成20年7月17日(木)

16:30~

と ころ : 市政記者室

広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局

(担当 (財)広島市文化財団 事業課 久保田 Tel:082-245-0245)

国際審査委員について

1 国際審査委員（6名）

氏 名	国 名
マルユット・リンミネン	フィンランド
ジェネヴィエヴ・ジェオルジェスク-オブレチェア	ルーマニア
ラストコ・チーリッチ	セルビア
デーヴィッド・アーリッヒ	アメリカ
ピョートル・ドゥマラ	ポーランド
杉井 ギサブロー	日 本

※ 経歴等詳細については別紙のとおり。

2 国際審査委員長の選出について

第1回国際審査委員会（大会初日の8月7日午前9時開催予定）において選出。

第12回広島国際アニメーションフェスティバル

国際審査委員の経歴等

マルユット・リンミネン

アニメーション・ディレクター

1944年フィンランド生まれ。1968年ヘルシンキ大学応用芸術学部（グラフィックデザイン）を卒業後すぐにコマーシャルのアニメーションを制作。この作品は1972年のザグレブ国際アニメーションフェスティバルの広告作品部門で最優秀賞を受賞し、翌年、ハラス・アンド・バチエラーアニメーションの招きを受けてイギリスに移った。1974年独立し、フィンランドのクライアント向けのコマーシャル、チャンネル・フォー・テレビジョンの短編番組用の作品、フィンランド放送協会の子供向けシリーズで共同制作をおこなう。作品は世界各国の映画祭で幅広く上映、受賞も多く、海外の回顧展も開催されている。イギリス内外での映画祭の審査委員、ロンドンのナショナル・フィルム&テレビジョン・スクール他での客員講師、各国の大学院修士課程で教鞭を振り、ワークショップを開催している。



ジェネヴィエヴ・ジェオルジェスクー オブレチェア

グラフィック・アーティスト、映画制作者

1937年ルーマニアのサテュマレ生まれ。ブカレストの大学の芸術学部及び博物館学部美術史学科を修了。30年に渡り、「アニマフィルム」スタジオに所属。主に、アニメーションの分野において、カットアウトの手法を駆使し、背景画やグラフィックアート制作、監督としての才能を発揮した。担当した背景画は、200以上、ウィーンとヴェネチア他で受賞している。映像作品においても、テヘランで行われた、国際エデュケーショナルフィルムフェスティバルで受賞している。1981年、アヌシー国際アニメーションフェスティバルの選考委員をつとめた。1994年、映画制作100周年を記念した作品を国際企画で制作した。ASIFA ルーマニア支部長。現在、フリーの映画制作者達との様々なプロジェクトに従事している。



ラストコ・チーリッチ

1955年セルビア、ベオグラード生まれ。イラストレーション、アニメーション、グラフィックデザイン、アートグラフィック、コミック本、蔵書票、音楽と、幅広い分野で活躍している。現在は、ベオグラード芸術大学応用芸術学部教授として、イラストレーション（1994年～）及びアニメーション（2006年～）の指導にあたっている。



同大学応用芸術学部におけるアニメーション研究の創始者でもあり、同大学院ではデジタルアート総合研究グループの室長も努めている。また、デュナブ・フィルムスクール・アニメーション学部の創設者として学部長（1996年～2006年）を努めるかたわらイラストレーションに関する数多くの著書、250社以上の企業のロゴデザイン、個展の開催回数は32回を数え、この他にも200以上の共同展に参加している。イラストは、スティーブン・ヘラー氏によるニューヨークタイムス・ブックレビュー（2002年～）で使われている。国際アニメーションフィルム協会（ASIFA）会員

デーヴィッド・アーリッヒ

1941年ニュージャージー州 エリザベス生まれ。

コーネル大学で政治学の学位を取得後、カリフォルニア大学バークレー校で演劇修士、コロムビア大学にて映画専攻で美術学の修士を取得。フルブライト奨学金を受けてインドで彫刻の研究をした後、日本で墨絵を学んだ。

これまでに35本以上のアブストラクトアニメーション作品を制作し、国際アニメーションフィルム協会（ASIFA）



の下でアニメーションの国際的なコラボレーションを数多く実現した。1987年にはカンヌ国際映画祭にて5カ国のユニークなコラボレーションである「アカデミー・リーダー・バリエーションズ」でアニメーション映画審査員賞を受賞した。また、アメリカ国内外で子供向けに数多くのアニメーション・ワークショップを実施し、1992年以降はダートマス大学にて、映画研究の教授を務めている。

ピョートル・ドウマラ

アニメーター、ディレクター、イラストレーター

1956年、ワルシャワ生まれ。ポスターデザイナー、美術デザイナー、作家としても活躍。映画学校（ポーランド、ウッチ）、コンストファック芸術大学（スウェーデン、エクシェ）、ハーバード大学（米国、ケンブリッジ）で



教鞭を取る。ワルシャワの芸術大学にて彫刻とアニメーションを学び、1981年より、ディレクターをつとめたアニメーションや商業作品は70以上、受賞数は、50を超える。1983年、石膏に絵を描いたりかき傷をつけたりする、新たなアニメーションのテクニックを考案。このテクニックをゲントの王立芸術学校、ヴォルダ大学、ロンドンのロイヤル・カレッジ・オブ・アート等で学生向けにワークショップを開催。

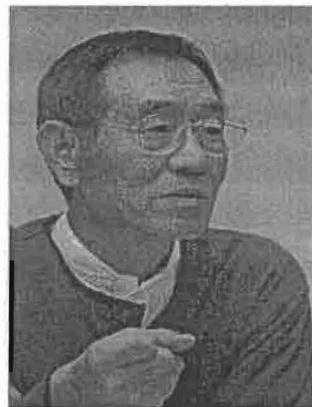
杉井 ギサブロー

アニメーション映画監督、日本映画監督協会理事、
京都精華大学教授

1940年8月20日生まれ。1959年東映動画
に入社し、アニメーションの基本を徹底的に学ぶ。

「白蛇伝」のアニメーターを皮きりに「少年猿飛佐助」

「西遊記」などの傑作を手がける。1961年、手塚治虫率いる虫プロ創立に参加する。虫プロ時代は、「鉄腕アトム」「悟空の大冒険」「どろろ」などの監督を手掛け、当時としては珍しい大人向けの長編劇場用アニメーション「千夜一夜物語」「クレオパトラ」の製作にもゲストアニメーターとして加わった。'69年に田代敦巳と共に株式会社グループ・タックを設立して長編映画「ジャックと豆の木」やTVアニメシリーズ「まんが日本昔ばなし」「ナイン」「タッチ」などを監督する。'85年には宮澤賢治の代表作である「銀河鉄道之夜」をアニメ化し傑作として各界の話題となった。'87年アニメ映画「源氏物語」は日本の古典文学を映像化した作品として各部門で高い評価を受けた。また、「砂風」の雅号で日本画家としても絵筆の世界ではほのぼのとした作品を描き続けている。



第12回広島国際アニメーションフェスティバル

上映プログラム一覧表

プログラム	開催場所	内 容
コンペティション(公開審査)	大ホール 8/7、8/8、8/9、 8/10、	世界58カ国地域から応募された1,656作品の中から選考審査を通過した76作品を公開審査し、グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、ルネ・ラルー賞などを選定
フィンランド特集	大ホール8/9 小ホール 8/7、 8/10、8/11	フィンランドの優れたアニメーションの数々を、長編「ムーミン谷の夏まつり」「クエスト・フォー・ア・ハート」の2作品、学生作品集①～④、作家特集①～③、スタジオ特集など、かつてない規模で特集。
アルゼンチン特集	中ホール 8/7	アルゼンチンの傑作アニメーションの数々を特集して上映。
ピョートル・ドウマラ特集 (上映とトーク)	大ホール 8/8	ポーランドのフィルム・ディレクター、ピョートル・ドウマラ。その傑作の数々を上映する。あわせて本人によるトークも。
ポール・ドリエセン特集 (上映とセミナー)	大ホール 8/8	本大会の国際名誉会長を務めるポール・ドリエセン。本人によるセミナー。
ディズニー・最新短編作品『グラゴーズ・ゲスト』(上映とセミナー)	中ホール 8/8	日本初公開のディズニー・最新短編作品「グラゴーズ・ゲスト」の上映とアンディ・ハークネス氏によるメイキング・セミナー。
ピクサー最新短編作品『プレスト』 (上映とセミナー)	中ホール 8/8	日本初公開のピクサー最新短編作品「プレスト」の上映とダグ・スイートランド、ジェイ・ウォードの両氏によるセミナー。
手塚治虫回顧上映 (上映とトークショー)	大ホール 8/10	今年生誕80周年を迎える手塚治虫氏。テレビシリーズから短編作品までの代表的な作品の上映とゲストによるトークショー。 (トークショー「オサムとアトムとアニメの日々」 出演予定: 杉井ギサブロー、出崎統、富野由悠季、りんたろう、高橋良輔、松谷孝征の各氏)
ニコール・サロモンが語る巨匠達 (上映とトーク)	大ホール 8/11	長年にわたりアニメーション界に多大な貢献を行ってきたニコール・サロモン。彼女が語るイタリアの巨匠エマヌエーレ・ルッツァーティとジュリオ・ジャニーニについて。アニメーションで描くオペラの世界。
ラストコ・チーリッチ特集 (上映とトーク)	大ホール 8/11	イラストレーション、アニメーション、グラフィックデザイン、アートグラフィック、コミック本、蔵書票、音楽と幅広い分野で活躍するセルビアの奇才ラストコ・チーリッチ監督。その傑作の数々の上映と本人によるトーク。
特別上映作品	大ホールほか	<ul style="list-style-type: none"> ・特別上映ディズニー「シンデレラ」 【8/7・大ホール】 ディズニークラシックの名作をオープニングを飾る作品として上映。 ・長編「トゥ・ザ・トップ・オブ・ザ・ワールド」 【8/7・中ホール】 ポルトガル初の長編アニメーション作品を特別上映 ・スタジオピロッド特集 【8/8・大ホール】 現在、ロシアで最も意欲的な作品を生み出しているピロッド・アニメーションスタジオの作品の数々を紹介 ・アレクサンドル・タタルスキー(スタジオピロッド創始者)回顧上映 【8/8・大ホール】 ・ドキュメンタリー「クリノ・クリスチャーニ 世界初の長編アニメーションの謎」 【8/8・中ホール】

特別プログラム

特別上映作品	大ホールほか	・杉井ギサブロー「銀河鉄道の夜」 【8/8・中ホール】
		・ディズニー・ピクサー「ファインディング・ニモ」 【8/9・大ホール】
		・ドニョ・ドネフ回顧上映 【8/10・大ホール】
		・オリンピ・ヴァラシュテアヌとジェオルジェ・スイビアヌ回顧上映 【8/10・中ホール】
		・ドキュメンタリー「久里洋二でいこう！」 【8/10・中ホール】
平和のためのアニメーション	大ホール8/7、 中ホール 8/10、8/11	広島ならではのプログラムとして世界から寄せられた平和を願うアニメーションを特集
ベスト・オブ・ザ・ワールド	大ホール 8/7、8/9、8/10、 8/11	他大会のグランプリ作品、巨匠の新作、世界の名作・傑作・話題作等、普段あまり見ることのできない作品を紹介
アニメーション・フロム・ザ・ワールド	小ホール8/8	日本では見る機会が少ない国々の作品の数々を紹介
学生優秀作品集	小ホール8/8、 8/9、8/10、8/11	アニメーションを学ぶ学生が制作した優秀作品を上映
子どものためのアニメーション	中ホール8/9、 小ホール8/9	普段見ることのできない優れた子どものための作品を上映
世界の子どもの作品	中ホール8/10	ASIFAワークショップ・グループ国際プロジェクトにおいて、子どもたちが制作した作品を上映。合わせてパラパラアニメーション入賞作品の上映と表彰式
現代日本のアニメーション	中ホール8/11	日本アニメーションの「今」を示す作品を紹介
インフォメーションBOX2008	中ホール8/11	今大会の国際審査委員と国際選考委員の作品を紹介

第12回広島国際アニメーションフェスティバル

展示等一覧表

イベント	開催時間	開催場所	内 容
エデュケーショナルフィルムマーケット	9:00～ 17:45	1階市民ギャラリー	教育機関に呼びかけ、アニメーション界における人材発掘、リクルート活動、学生の確保、情報の交換を目的として実施する。
キッズ・クリップ	10:00～ 17:00	4階 中会議室・ 児童室	子どもたちがアニメーションに身近に触れ合えるワークショップを実施するとともに、パラパラアニメーションコンテストの作品を展示。子どもが作った作品の上映もあり。
マッキントッシュ・ アニメーション・ メイキング・ワールド	10:00～ 18:00	4 階 美術工芸室	パソコンを使ったアニメーション制作のワークショップ。
フィンランド展	10:00～ 18:00	5 階 視聴覚スタジオ	童話のムーミン、そしてサンタクロースの故郷として知られているフィンランドを展示により紹介。モニターによるアニメーションの上映もあり。
オットー・アルダー展	10:00～ 18:00	5 階 大音楽室	同氏の作品「パピロシー」の展示。モニターによる上映もあり。
デービッド・アーリッチ展	10:00～ 18:00	5 階 小音楽室	同氏のアニメーションの上映。また、平面図画・立体作品の展示もあり。
ネクサス・ポイント	9:30～ 18:00	5 階 中音楽室	プロのための作品の持ち込み上映を通じたビジネス交流の場。
ラストコ・チャーリッチ の世界	10:00～ 18:00	6 階 大練習室	ラストコ・チャーリッチのイラストの展示。
立体映像の展示	10:00～ 18:00	6 階 小練習室	3Dの映像をプロジェクターで上映。ウェルツアニメーションスタジオやラストコ・チャーリッチ等の作品を上映。
フレーム・イン	9:30～ 18:00	7 階 研修室	プロを目指す若者たちの発表の場。アニメーション制作の専門家から指導を受けるとともに、相互の情報交換を行う場を提供する。